



美麻のゆるキャラ総選挙！

美麻市民+1

学習成果を地域に発表

美麻地区文化祭の会場で、美麻中学校が総合学習「美麻市民科」での学習成果を地域の皆さんに発表しました。

今年は、7年生から9年生まで、化石、山菜、麻、城址、などの地域をテーマに学習課題を設定して、8つのグループに分かれての学習を行いました。

今年も、長野大学の先生方の指導をいただきながら、9年生は、ジビエの特産品化と美麻地区のゆるキャラづくりの2つに挑戦しました。

今後は、地域づくり会議も協力し、具体的な商品化、キャラクター化に向けて検討をしていきます。





源流美麻太鼓コンクールで敢闘賞

去る9月1日第16回日本太鼓ジュニアコンクール長野県予選大会に出場してまいりました。会場は上伊那郡箕輪町の箕輪町文化センターでおこなわれ、県内で活動している12チームが太鼓技を競い合いました。優勝したのは信濃の国松川響樂太鼓ジュニアのチームです。来年3月に行われる全日本太鼓ジュニアコンクールに出場が決定されました。源流美麻太鼓ジュニアは惜しくも敢闘賞になりましたが大きな大会で堂々と演奏したジュニアにエールを送りたいと思いますお疲れ様でした。

日本太鼓ジュニアコンクール長野県予選大会は、高校3年生以下0歳まで15名以内、課題曲1分自由曲4分合計5分で採点され減点方式、一秒オーバーでもしたら失格、また隠れ採点もあり会場に入ってから退場するまでの行動状況までも採点の対象になる厳しい大会です。



格、また隠れ採点もあり会場に入ってから退場するまでの行動状況までも採点の対象になる厳しい大会です。

挨拶に始まり挨拶で終わる、舞台上がれば音から音まで厳しい一日ではなかったかと思えます。近年源流美麻の子供会太鼓が多くの方々から好評をいただき各種イベント等でお声掛けいただき多忙な演奏活動をしておりますがチーム一同頑張っておりますのでご支援感謝申し上げます。それでもネ、父母の皆様関係各位様には大変なご理解をいただき会の運営にご協力いただき居ますことにたいしても感謝申し上げます。

今年度もあと僅かになりましたけれど源流美麻太鼓の活動は終わりがありません皆様の多大なる応援、ご支援をお願いいたします。

日本太鼓財団 長野県支部 常任理事
源流美麻太鼓の会 合津富吉

色々なイベントで源流美麻太鼓へのお声掛けをいただいて有難うございます。くれぐれも名称を間違えないようお願いいたします。

美麻源流太鼓ではないのです。

源流美麻太鼓の会 会長より

パンダクラブ&保育園 親子バス遠足

9月19日（木）、公民館主催による、パンダクラブと保育園の親子バス遠足が行われました。残念ながら、来られなかったご家族もいましたが、総勢40名を乗せた大きなバスの行き先は、長野市茶臼山動物園！！入園し、お昼寝中のライオンやトラの横を走り抜け、元気一杯にキリンさんへ！団体対応ということで、木の葉の餌やりを体験させて頂きました。キリンさんの顔に近づく様に階段を登って、みんな上手にあげられました。

つづいて一行は、元気に園内を駆け回りながら、モルモットの抱っこコーナーへ！こちらでも特別に、ハリネズミや、小さな小さなパンダネズミも触らせて頂きました。お母さん達も、大きく太い蛇をなんと首に掛け、にこにこ！そして、長野市を一望出来るモノレールにワクワクと乗り込み、目指すは恐竜公園。しばし徒歩。この辺り、パンダさん、ひよこさん、りすさんのお友

だちはきつかったでしょうか？

恐竜公園の木陰でどっこいしょ。お弁当を広げ、ブロントザウルスを目の前にしてのお弁当。子供達は食べ終わるとすぐに、恐竜滑り台へ駆け出して行きました。

お天気に恵まれ、程よい(?)疲労感の遠足でした。公民館館長さんはじめ、パンダクラブ担当の小林さん、新井先生、保育園の先生方、親切に対応して下さいました動物園の飼育員さん方、ありがとうございました。楽しい一日でした。小さなお子さんを連れ、少々大変だったお母さん方も、ご参加、ご協力ありがとうございました！



みんなで作るコミュニティスクール ②

美麻小中学校が、来年度からの小中一貫のコミュニティスクールの指定を受けるために、大田市教育委員会から委嘱された地域住民によるコミュニティスクール推進委員会でその内容について、検討をしています。これまで視察や講演会など勉強会を行い、現在は新しく作られる学校運営協議会の組織づくりについて、検討しています。学校運営協議会が出来ますと、地域の皆さんも学校づくりに意見を言って、学校支援ボランティアが、学校教育の支援を行うようになります。

県ではその体勢づくりを積極的に推進し始めています。その内容について、PTAや地域住民に文化祭等の際に説明を始めたが、今後もコミュニティスクール便りや説明会などを通じて広報される予定です。なお、10月1日から前川広報部会長が、スクールコーディネーターに委嘱され、微力ながら学校と地域を結び役割を担うことになりました。皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

広報部会長 前川浩一

園児が卒園証書の紙すき体験！



今年度の美麻保育園の卒園証書を、親子で手作りするというありがたい紙漉き体験がありました。松崎和紙さんの丁寧なご指導のもと、初めてでも証書サイズの和紙を上手に漉くことが出来ました。白いこうぞ（桑のような木から作る）を水に溶かして、貴重な美麻の麻の繊維を加え、とろろあおいという植物の樹液を入れます。美味しそうな名前のこの植物は、水の中のこうぞが沈まない様に、平均に保ってくれる透明の液体です。とろ

りんとした感触に、子供もお母さんも先生も、みんなびっくり！

す巻きの様なものを乗せた型枠に、紙の素をすくってゆらゆらと揺らすこと3回。水の中で揺らしてしまったり、ちょっとした水切りのタイミングで、しわができてしまうことも。漉いた紙をはがす時は、ゆっくりでも、止めずに同じリズムで着地させるなど、うーん、紙を漉く人の息使いで出来映えが決まるような世界です。さらに、はがき大のものも作らせて頂きました。用意して頂いた葉っぱや、型、絵の具、千代紙等で、自由に飾り付け。子供も大人も夢中になって、次々と作品作りに没頭しました。

証書の方は、綺麗に仕上げをして下さるそうので、親切な松崎和紙さん始め、公民館、地域づくり会議のみなさんに感謝いたします。園長先生、年長の原田先生もお休みのところ、ありがとうございました。手作りの思い出付きの卒園証書。すばらしいです。

メンドシーノ シスターシティ・ニュース

チェルシーさん帰国

今年8月に、アメリカに帰国しました。石川県で3年間も仕事していたのですが、それだけ日本にいと、いくらアメリカは母国だといっても、帰国してから驚くことが盛りだくさんです。車も早いし、食事の量も多いし、それに石川県に比べたらやはりメンドシーノの夏は寒い(到着した日はなんと13度!)メンドシーノへ戻ってから、両親や家族との再会や、夏のお祭りなどを楽しんでいます。もちろん仕事もしなければなりません。そこで、メンドシーノの姉妹都市協会と話し合って決めたのは週一回の日本語教室です。まだ始まったばかりですが、生

徒さんはやる気のある13人の大人です。何を勉強しているかということ、例えば先週は挨拶、ひらがなのあ行と、それから日本のじゃんけんのしかたを覚えました。来月から、公民館で小学生対象の教室も始まります。生徒たちはどれだけ話せるようになるかまだわかりませんが、来年の訪問団の皆さんを少しでも日本語でお招きできるように、みんなで一所懸命がんばりたいと思います。メンドシーノで、お待ちしております！

(Chelsea Robinson)



美麻ジビエ振興会が知事表彰になる



美麻においては、5・6年前から鹿やイノシシが畑の農産物や植林した木の若芽を食べられる被害が出始めてきました。イノシシや鹿は、雪の多いところにはすまないと言われていましたが温暖化のためか美麻にも出没するようになりました。イノシシや鹿を捕獲したくても美麻には鉄砲を所持している猟師は22年度では3名しかおりませんでした。いくら頑張っても3名では対応ができない、何か良い方法はないかと考える中でイノシシや鹿を捕獲するに「ワナ猟」があると知り、地域の人達に話し、22年2月に8名の方が資格を取り、経験のある人から「獣道」やワナのかけ方を教えてもらい、それから毎朝のワナの見回りが4月1日より11月14日まで欠かさず続けなくてはと大変な仕事になりました。

当初は、捕獲したものは、軽トラの荷台で処理をし、肉は各自で持ち帰っていましたが食べきれなくなってしまい、この肉を何とか有効活用できないかと皆で相談した結果、「処理場」を作り肉の販売をしようということになり、24年度の長野県の「元気づくり支援金」に応募したところ採用されまして、24年7月12日「美麻ジビエ工房」が完成いたしました。(総工事費769万円支援金462万円自己資金307万円)

現在は、ワナの資格を持つ人は、大塩2名・二重3名・新行3名・青貝7名・千見3名総勢18名になって各地域ワナを180個くらいかけ毎日見回っております。ワナにかかっていたら連絡を取り合って解体所に4から5名の方が集まって衛生的に解体処理をします。

今回の知事表彰は、猟友会の会員を増やしてワナ猟による駆除を実施し、農産物の被害軽減をしていること。また自然恵みを大切に付けていただくという意識を持ちながら地域の活性化につなげるために、処理された肉は、地元の肉屋を通じてホテルやレストランで利用され、美麻小中学校の給食・美麻の文化祭・ふれあい祭り・美麻市等で利用されていることも大きな要因になったと思います。これからも一層努力して住みよい村づくりに協力していきますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

(美麻ジビエ振興会)

梨の木祭のお礼

梨の木祭にご参加いただきありがとうございました。たくさんの方に起こしいただいたおかげで、アルミ缶、ベルマークをたくさん収集することができました。また、東日本大震災、長野県北部地震への基金もたくさん集めることができました。皆様の盛り上がりがあったからこそ、大成功の梨の木祭にすることができました。ありがとうございました。

(美麻中学校生徒会本部)

今年は私達9年生の最後の梨の木祭でした。この日のために一人一人がどうしたら安全で楽しくいつまでも思い出に残る梨の木祭になるのかを考え、話し合っ準備を重ねてきました。そして本番は大成功におわりました。

今年の梨の木祭のテーマは「創造」です。私達だけでなく、全校、そして地域の方々が創り出した最高の梨の木祭になったと思います。(9年 中村綾佳)

ぽかぽかランド美麻が開業20周年



10月5日、ぽかぽかランド美麻開設から20周年の節目を迎え、大町市と指定管理者のF&Mカンパニーの共催で、ぽかぽかランド美麻で20周年を祝う式典が行われた。来賓として諏訪県議会議員、小林議会議長をはじめ、美麻地域からは開設当時から合併までの議会議員、行政関係者、また、現自治会長、地域づくり委員の皆様等が招待されました。ぽかぽかランドはふるさと創生1億円の使途について、住民の要望が多かった温泉掘削を契機にして、村当時の拠点施設として開設されたものであり、往時をしのび懐かしく語られる一方、20年経過する中でボイラーの更新が諮られましたが、経年劣化に伴う機械設備等の整備、施設のリニューアル化を図っていただくことが、必要だといった声もありました。ぽかぽかランド美麻の最近の情報として、

「じゃらんnet」では非常に高い評価を得ていることが公表され、利用者の拡大増加が期待されていました。

(北沢伊絛男)

開業を伝える

広報みあさの記事→

(平成5年6月号)

指定管理者制度により、現在ぽかぽかランドの運営をしています、F&Mカンパニーの福島です。本年20周年を迎えるにあたって私自身も大町市民の一人として、大変うれしく思うとともに、長い間多くの皆様に愛されているこの施設の運営を任されているということに身の引き締まる思いです。

我社は、この施設を大町市の東の玄関口として多くの皆様にご利用いただき、観光の一翼を担いたいとの思いから平成22年より運営をさせていただいております。まだまだ当初の予定通りという訳ではありませんが、20周年を機にスタッフ一同もう一度気持ちを新たに運営にあたりたいと思います。

現在、20周年にあたり特別プレミアムプラン並びに、201号室を特別室として内装並びに備品を変更するなどし、経営の安定化を図っています。隣の施設「美遊」においても本年は農産物以外の販売を行っており、実績を検討し来年の営業方針を決めていくつもりです。地元の皆様にもぽかぽかランド美麻、並びに美遊をご利用していただき、大町市の活性化にご協力いただきたいと思います。

(F&Mカンパニー)





新聞記者魂（川上俊也さん講演会）

9月24日、美麻小中学校で川上俊也さんの講演会がありました。東日本大震災の大混乱の中、ギリギリの状態下で新聞を作り続けた経験を織り交ぜ、どんな思いで新聞製作に携わってきたか記者の皆さんの思いを中心にお話していただきました。

講演会を聞いて

川上俊也さんのお話を聞いて、震災が起ころうともまず最初に思ったのが新聞を作ろうとしたことがすごいなぁと思いました。川上さんや他の新聞社の人たちも震災で大変だったはずなのに、他のみんなになんとか情報を伝えたいという思いがすごく強かったんだなと思いました。川上さん達が作ってくれた新聞のおかげでどんな状況が分からず不安に思っている人たちが新聞を見てとても助かったのではないかと思います。

私も震災にあった人たちに何か自分のできることをしたいなぁと思いました。

（7年 高平あゆみ）

今日、川上俊也さんの話を聞いていくつか印象に残ったことがあります。まず、号外を作る時のことについてです。揺れが起きた後、電気が使えなくなり電話ができなくなったそうです。その時「1時間ほどで使えるだろう」と思ったらしく予備の発電機を使ったそうです。号外は会社に聞いてから作らなければならないのだが電話が通じなくて独断で作ったそうです。次の日からの新聞もテレビ欄などがなく、地震があったということだけの記事になったそうです。

二つ目はそのたった紙一枚の新聞についてです。読者からは「金を払っているのにこれはなんだ」というお叱りの意見があり力不足を感じたそうです。一方で被災者の方から

「涙が出るほど嬉しかった」と言われたそうです。新聞一つについても色々な意見があると分かりました。

この話を通して新聞を作る側の行動や気持ちが分かり、読者のために動いてくれたことがよく分かりました。とても良い話が聞けたと思いました。

（8年 江津瑞樹）

今日、お話を聞いて初めて知ったことがいくつもありました。まず、茨城県にも東北と同じくらいの被害が起きていたことです。知らなくてはいけないことを知ることができました。そしてこんな混乱の中でも新聞が発行されていたことです。私は地震があった日、次の日も次の日もいつもとは違うけど新聞が届いていました。長野県は被害が少なかったけど、写真を撮って（現場まで行って）記事も書いてという作業が行われていたと思うと本当に感謝しないといけないと思いました。今日の話を受けて、今の学校生活、それから将来「自分にできること」「やらなくてはいけないこと」というのを考えること、そしてそれを行動にうつすことが必要というのを感じました。どんな状況でも、人の為に考えていくことが大切だと思いました。

（9年 小山ゆき）



定住促進住宅入居者募集

子育て世代を応援します。



■募集する新築住宅

大塩 桜台団地

木造二階建 3戸 平成26年1月から入居できます。

■家賃 36,000円(子供のいる世帯は減額)

■入居条件 同居する親族があり、所得が一定額以上などの基準に合う人

■申込み

11月20日(水)～12月9日(月)

平日8時30分から午後5時15分まで(納税証明書、所得証明書等が必要となります)

■その他 入居者は応募の中から選考のうえ、決定いたします。

犬、猫などペットの飼育は禁止です。

■現地内覧会

11月23日(土) 10時～15時

■申込み及び問い合わせ先

※市ホームページ掲載の「定住促進住宅募集要項」をご覧ください。

お問合せ先
美麻支所 産業建設係
TEL 29-2311

介護施設 「さくら」が開所



「さくら」は、10月に大塩桜台にオープンしたお年寄りの福祉施設です。地域の皆さんの福祉のお困り事に対応する3つのサービスをご用意しています。

1つ目は、介護が必要になった時のサービス利用をお手伝いをするサービス。

2つ目は、長野県に登録したお年寄りが使いやすい設備と、食事や見守り、相談援助などが付いた賃貸アパート。

3つ目は、家で生活する人を応援するため、デイサービスや困った時の短期の宿泊、ヘルパーさんが家を訪問するサービスをセットで提供する介護保険のサービスです。地域の皆様のお力をお借りして、より良い「さくら」にしていきたいと思えます。お近くにお寄りの際は、ぜひお気軽にお寄りください。「みんなで暮らす大きな家・いろんな人が自由に入出入りできる場所」を目標に、スタッフ一同皆様のお越しをお待ちしております。

お問合せ先
株式会社 山里舎
「さくら」
TEL 29-2840

■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info